

授業科目	母性看護学 目的・対象論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次前期	1単位	講義・GW	30時間
到達目標	1.母性の概念と母性看護の対象や役割、機能を理解する 2.母子保健統計に基づく母子保健の動向を理解する 3.母子保健施策の現状について法的根拠を踏まえて理解する 4.リプロダクティブヘルスの主な健康問題と支援の方法を理解する					講師
						専任教員
授業計画						
1～ 2回	母性看護の基盤となる概念 1) 母性の概念 2) 女性のライフサイクルと家族,母子関係と家族発達					
3回	母性看護の基盤となる概念 1) セクシュアリティ 2) リプロダクティブヘルス/ライツ 3) ヘルスプロモーション					
4～ 7回	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1) 母性看護の変遷 2) 母子保健統計の動向 3) 母性看護に関する組織と法律 4) 母性看護に関連する施策、場と職種					
8～ 9回	母性看護における倫理 生命倫理と看護倫理（生殖補助医療、人工妊娠中絶、出生前診断など）					
10～ 15回	3. リプロダクティブヘルスケア 1) 家族計画 2) 性感染症とその予防 3) 性暴力と社会 4) 不妊症 5) 災害時の母子支援 6) 母子保健の国際化					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験（100%）					
教科書	系統看護学講座 専門分野 母性看護学②母性看護学概論 医学書院 母性看護学 I 概論 医歯薬出版株式会社 国民衛生の動向 厚生統計協会					
参考書	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護					
備考	予習においては教科書の該当ページを熟読する。また、講義に関連する報道・記事などに関心をもち発展的理解に努める。復習においては、教科書、講義資料を用いて学習した内容を整理し、理解を深める。					